

# 令和7年度予算に向けた新規事業採択時評価について (令和7年3月時点)

## 【公共事業関係費】

事業区分		新規事業採択箇所数
河川事業	直轄事業等	1
合計		1

# 令和7年度予算に向けた新規事業採択時評価結果一覧 (令和7年3月時点)

以下に示す事業について、予算化は妥当と判断する。

【公共事業関係費】

【河川事業】

(直轄事業等)

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等による評価	担当課 (担当課長名)		
		貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C(億円)				
		便益の内訳及び主な根拠		費用の内訳			B/C	
鶴川総合水系環境整備事業 北海道開発局	3.6	53	【内訳】 水辺整備の効果による便益：53億円  【主な根拠】 (水辺整備) 支払意思額：442円/月/世帯 受益世帯数：68,364世帯	3.6	【内訳】 事業費：3.3億円 維持管理費：0.28億円	14.7	(水辺整備) ・水辺拠点の創出により、水辺利用が安全かつ快適に実施できるようになる他に、民間事業者等が河川環境の魅力を活かした様々な活動を行うことが可能となり、賑わいの創出と地域活性化に貢献する。 ・堤防天端を舗装し、サイクリングロードとして活用することで、利用者が快適かつ安全にサイクリングを実施できる環境を創出し、水辺拠点の整備と合わせて観光周遊性を向上させることで、地域活性化に貢献する。	水管理・国土保全局 河川環境課 (課長 小島 優)